

第4回東大和市議会「市民の声を聴く会」(R4.5.15)において出された意見等

グループディスカッション(総務委員会)

1	<p>(議会運営委員会のグループが無かったので総務で発言)</p> <p>コロナ禍になって、市議会が何となく公開に消極的になったように感じる。市議会のHPには「傍聴に来ないでほしい」というように取られる表現がある。パッと見たときに「傍聴できないんだ」と受け取られるように感じる。もちろん、コロナ対策については必要だが、誤解の内容に「感染予防対策をして傍聴に来てほしい」という風に伝わるような表現にしてほしい。</p>
2	<p>今回「市民の声を聴く会」を開催してもらってよかった。「コロナ禍だから出来ない」ということではなく「コロナ禍だけど、どうしたら出来るか」という前向きな姿勢で、積極的に市議会の取組を公開するという姿勢は良い。また、万が一、人が集まらない状況になっても対応できるように動画を作成し、You tubeに掲載するということが評価できる。今後も、このような姿勢で市議会には取り組んで欲しい。また、市民に対してわかりやすい内容(例えば…という例示を出すなど)、市民感覚ということを考慮して作成していただくことをお願いしたい。</p>
3	<p>今回、事前申し込み制で定員20名となっていたが、20名などと言わず、もっと参加して下さいと呼びかけるべきだ。</p>
4	<p>動画で予算審査の内容が報告されたが、「新たな取組み」といったことについてのみ取り上げられているが、「辞めた事業」や「市民負担が増える、新たに市民負担を求める」というようなことについても説明に入れてほしい。</p>
5	<p>行政側の説明や答弁で、様々な事柄について「まだ決定していないので、今、市民に公表すると市民が混乱する」というような表現が良くある。その説明に、市議会も納得してしまっている。一市民として馬鹿にされているように感じる。決まってしまってから説明されるより、決定する前に意見を聞いてもらった方が混乱しない。もちろん、自身の意見とは違う決定となったとしても「私と違う意見となったんだな」という風に納得するし、決定前に意見を聞いてもらった方が混乱しない。</p>
6	<p>環境問題に寄与するところに市の財政を活用するということに対して、行政側から出されたことに対してチェックするだけでなく、市議会として積極的に提案、確認してはどうか。令和4年度の予算では市役所本庁舎の空調の動力をガスから電気にする、また、中央空調方式から個別空調方式にするということが計上されていることは良いことだが、そうすると今までよりも経費が削減できると思う。そのために削減できる燃費について市議会は把握しているのか。そして、その削減された経費で環境にやさしいLED電球などに変えることに使用するという事などを市議会から提案したらどうか。</p> <p>市にLED電球に変えた方が良いという提案を何度かしてきたが、「初期投資のお金がない」という答弁ばかりだ。新たな取組みにより削減できる燃料や電気などの経費を環境負荷が少ない新たな仕組みに変えることなどに活かすように市議会でも提案してはどうか。</p>
7	<p>市がLED電球に変えて、どのような効果(コスト削減)があったかという事例を示せば、民間業者もLED導入に対して前向きに取り組める。また、市内の中小業者に対して市がLED導入の技術を伝えれば、市の活性化につながると思う。</p>

8	東大和市全域で道の幅員が狭い住宅街が多くある。もし、大きな災害が発生したら大変なことになると思う。防災という観点で、もう少し、議会も行政も関心を持つべきだ。
9	行政のデジタル化について調査しているとのこと。効率化という点では賛成だが、デジタル化では情報などが届かない人が市民にはいまだにいるので、今までのような紙での情報提供など、デジタル化で取り残されるような人がいる点についても考慮をお願いしたい。
10	デジタル化することによる個人情報保護や活用という点について、東大和市としてはどうなのかという点も調査してほしい。

グループディスカッション（厚生文教委員会）

1	社会教育について 公民館事業について活発にしていきたい。
2	教育について、学力テストについて、都・全国以下となっていることを、議会で調査研究しているのか。
3	ひきこもりについての意見、要望 <ul style="list-style-type: none"> ・相談に行っても、どこに相談をしてよいかわからない。窓口を一本化してほしい。 ・見守りの人がひきこもりについて知らない。 ・家族会のつながりにより共有する人ができた。 ・相談の場をつくりたい。 ・専門職を配置してほしい ・高齢者の声掛け、見守り、ボランティア、民生委員、行政の職員、社協、事業所、それぞれ行動をしているが、共有されていない。認識を共有し、連携をして進めてほしい。 ・ひきこもりの8割が発達障害と聞いている。 ・社協のボランティアをして訪問をしているが、どこにもつながっていないケースがある。 ・相談しにくいいため、改善に向けた行動がとれない。

グループディスカッション（建設環境委員会）

1	市が関係する様々な発行物に用いられる地図がバラバラすぎ不正確である。統一されたベースの地図を使用し、そこに、それぞれのデータを落とししていけばよいと考える。既存のものを使い回しているのか、地図上の遊歩道がベビーカーや、車いすでは通れない道だったりと不正確である。基本とする地図の統一を望む。
2	市のエネルギー政策がまったく不透明である。地球環境問題にどのように取り組んでいくのか、我が市の特徴を示し、積極的に推進していただかないと、この問題の結果は孫子の時代に反映されるものなのでとても心配である。
3	地域（芋窪）の道路環境について、貯水池に上がっていく道で、先日も事故があったが、以前はカーブのガードレールに反射鏡等が付いていたが、現在は付いていないのでまた付けてほしい。 また、芋窪、旧青梅街道の大雨降雨時の山側に起因する湧水の対策をお願いしたい。冬季などは、この水が凍結してしまい、歩道の通行に支障が出ている。
4	受動喫煙問題に関し、東大和市駅前等の横断歩道で信号待ちしている際などでも、路上で多数が喫煙しているためとても迷惑している。早く全面禁煙等対処してほしい。

最後の全体の時間で出た意見

1	2年ぐらい前に市営住宅について市が実施したパブリックコメントで意見を提出したが、その後、どうなったのかということが市報などにも掲載がない。高木の市営住宅でも2件の家が建っているだけで、残りは空地で活用されていない状況。市内にある市営住宅を一つにまとめて、敷地を更地化して有効活用していくように市議会でも注視してほしい。
2	動画の中で学校施設の建て替えや長寿命化に330億円かかるとなっているが、これは全体の額なのか、頭金的なことなのかが不明瞭なので、わかりやすい表現にしてほしい。
3	自治会の活性化が失われている。近隣には、新しい住宅が増えており自治会のエリアの世帯数は間違いなく増えている。新たな自治会加入が無いばかりか、古い会員も様々な理由で脱会しているため、エリア世帯数は増えているのに自治会加入者は減っているという問題がある。行政も市報などで自治会加入を呼びかけてくれているが、根本的な問題を解決しなければ解決しない。個人情報の問題やコロナ禍で自治会も交流事業が開催できないということもある。自分さえ良ければ良い、今は問題ないという意識があるのだと思う。選挙の投票率が低いことも同じことが理由のように感じる。今のままで良いという考え、今の世の中が続くという考えから、将来の環境問題についてもつながってくる。住民の孤立化を防ぐ、また、解決するためにも、難しい問題だが、市議会でも議論してほしい。
4	高齢化社会とは孤立化社会だ。だからこそ、自治会や老人会を再構築してほしい。掛け声だけでは再構築は出来ない。カネとヒトを投入しなければならない。また、同じ課題解決の方向性として、公民館の有料化はどういう影響を及ぼすかについても考えてほしい。

◎ 東大和市議会「市民の声を聴く会」でいただきました御意見等につきましては、様々な機会を通じて取り上げるなどして、今後の議会活動に活かせるよう参考にさせていただきます。